

卒業研究	教授 廣瀬 郁雄
------	----------

1. テーマ

日本の会計制度（実務で行なわれている会計）は、金融商品取引法による会計、会社法による会計、そして税法による会計がある。この卒業研究の演習では、わが国で実際に行なわれている会計制度を取り上げ、その内在している問題点を中心に研究する。

2. ゼミのねらい・概要

このゼミでは、会社の経理関係の仕事を将来志向しようとする者及び税理士や公認会計士などの職業専門家を希望する者はいうまでもなく、会社の営業関係の仕事に就こうとする者に至るまでを対象に、簿記及び会計学の原理について専門的に研究することをねらいとする。

3. ゼミ計画

〔前期〕 前期は、卒業研究論文のテーマを仮決定してもらい、その内容を各ゼミ員に発表してもらう。また、卒業研究の参考となるように有価証券報告書や会計記事などを用いて企業研究を行っていく。 1. 卒業研究の課題確認（ガイダンス） 2. 卒業研究論文の作成方法 3. 卒業研究論文テーマの選択方法 4. 卒業研究論文テーマの確認(1) — 資産会計 5. 卒業研究論文テーマの確認(1) — 負債会計 6. 卒業研究論文テーマの確認(1) — 資本会計 7. 卒業研究論文テーマの仮決定と提出 8. 企業研究(1) — 有価証券報告書の見方 9. 企業研究(2) — 会計記事の紹介 10. 企業研究(3) — 収益性の分析 11. 企業研究(4) — 安全性の分析 12. 企業研究(5) — 生産性の分析 13. 企業研究(6) — 資金性の分析 14. 企業研究(7) — 実例研究① 15. 企業研究(8) — 実例研究②	〔後期〕 後期は、本格的に卒業研究論文の作成に取り組んで行くことになるが、そのためにゼミ員各自に順次作成経過の報告をしてもらい、卒業研究論文の完成に向けての指導を行っていく。 16. 卒業研究の作成準備（ガイダンス） 17. 卒業研究論文の作成方法の再確認 18. 卒業研究論文内容の発表(1) — 基礎概念 19. 卒業研究論文内容の発表(2) — 収益会計 20. 卒業研究論文内容の発表(3) — 費用会計 21. 卒業研究論文内容の発表(4) — 資産会計 22. 卒業研究論文内容の発表(5) — 負債会計 23. 卒業研究論文内容の発表(6) — 資本会計 24. 卒業研究論文の最終確認(1) — 基礎概念 25. 卒業研究論文の最終確認(2) — 収益会計 26. 卒業研究論文の最終確認(3) — 費用会計 27. 卒業研究論文の最終確認(4) — 資産会計 28. 卒業研究論文の最終確認(5) — 負債会計 29. 卒業研究論文の最終確認(6) — 資本会計 30. 卒業研究論文の最終チェックと提出
--	---

4. 到達目標

各自が発表した卒業研究テーマを取りまとめ、完成論文を仕上げるのが到達目標である。

5. 準備学習に必要な時間、又はそれに準ずる程度の具体的な学習内容

各自の卒業研究テーマに対して、発表担当者は論文要約の作成並びにその発表に対する予習を充分にしておくこと。

4. 成績評価の方法・基準

ゼミでの発表や積極的な発言などの授業状況と卒業研究成果物の完成度を中心に総合して評価する。

5. テキスト・参考文献

ゼミ員と協議して決定する。

6. 受講上の留意事項

期末試験を実施しない分、授業の中での発表や発言等を重視するので、授業の中では質問や意見等を積極的に発言するように努めてください。